

## 〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「喫煙防止教育」
- 2 対 象 1年次、教職員
- 3 専門医 川合 厚子 医師  
(南陽矢吹クリニック)
- 4 実施月 11 月
- 5 内 容(キーワード)  
タバコの真実  
受動喫煙は命の問題  
薬物乱用防止  
禁煙サポーター



## 評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

### ①健康課題の解決について

(○)とても有効だった

( )有効だった

( )課題が残った

<その理由>

- \*タバコの有害性、中毒性、薬物性について理解することができた。
- \*メディアリテラシー、命や人生の問題として考える側面を与えた。
- \*喫煙はしない、禁煙サポーターとして知識を伝えたいという気持ちを醸成

### ②保健教育における

校内連携について

(○)とても有効だった

( )有効だった

( )課題が残った

<その理由>

- \*年次、体育科、生徒保健課と連携して実施した。
- \*年次からも評価が高く継続してほしいという感想があった。

### ③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

(○)とても有効だった

( )有効だった

( )課題が残った

<その理由>

- \*喫煙防止教育を継続してきた実績から、本校の生徒に合わせた講演をしてくださることから効果が大い。
- \*薬物乱用防止、禁煙治療の最新情報の提示があり具体的であった。
- \*がん教育教材、受湯喫煙防止広報グッズを紹介していただいた。

## 〔受講者の感想など〕

- あらためてタバコの危険性を確認した。家族や友達に広めて大事な人を守りたいと思った。私は将来タバコを吸いません。
- 電子タバコにも害があることを初めて知って驚いた。
- 自分の将来や子供にも影響するのは恐ろしいことだと思った。

## 〔教科やその他の指導との関連性〕

- 教科保健 1年次「健康の保持増進と疾病予防」
- 生徒保健委員会 地域の健康まつりで生徒が受動喫煙防止を呼びかけ

